

厚生財団

財団法人 新潟県教職員厚生財団 TEL.025(228)3581
 〒951-8516 新潟市東中通1-86 FAX.025(224)8830
 URL <http://www.koseizaidan.or.jp> 08008003570
 E-mail info@koseizaidan.or.jp

KOSEIZ Aidan

新潟県の文化財シリーズ

羽越線府屋駅から2km東方の堀ノ内集落字上ノ山(うへのやま)地内に遺跡があります。昭和35年(1960)8月の第一次調査によって、巻貝の形をした土製品と、1歳前後の男子の足型を押し付けた土製品が発見されました。いずれも、縄文時代後期から晩期の製作と推定され、非常に芸術的センスが高い作品とされています。

現在、東京都上野の東京国立博物館に収蔵されています。

団員の皆さまにはますますご清栄でご活躍のこととお喜び申し上げます。

教職員の福利厚生団体としては、日本有数の規模を誇る当財団は、5月10日(土)に創立90周年記念式典を開催いたしました。また、当日、第1回評議員会を開催し、平成14年度事業並びに決算の承認と新役員の選出をいただき、15年度事業を順調にすすめております。

しかし、日本経済は平成大不況の中でデフレが深刻になってきました。さらに、金融不安や超低金利、株価の低迷、失業率の上昇、そして、公務員給与の引下げや医療費の値上げと、生活のきびしさが身近かに迫ってまいりました。さらに、課税強化を目指す公益法人改革も最終局面を迎えつつあります。

厚生財団のような公益法人の経営環境のきびしさは今後も続くものと覚悟しておりますが、当財団の決算は、僅かですが正味財産増となりました。団員の皆様のご理解とご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

役職員一同、今後とも福利厚生事業の充実に努めますので、よろしくお願いたします。

堀ノ内地内上ノ山遺跡出土品(国の重要文化財指定、文化庁所蔵)



巻貝形土製品

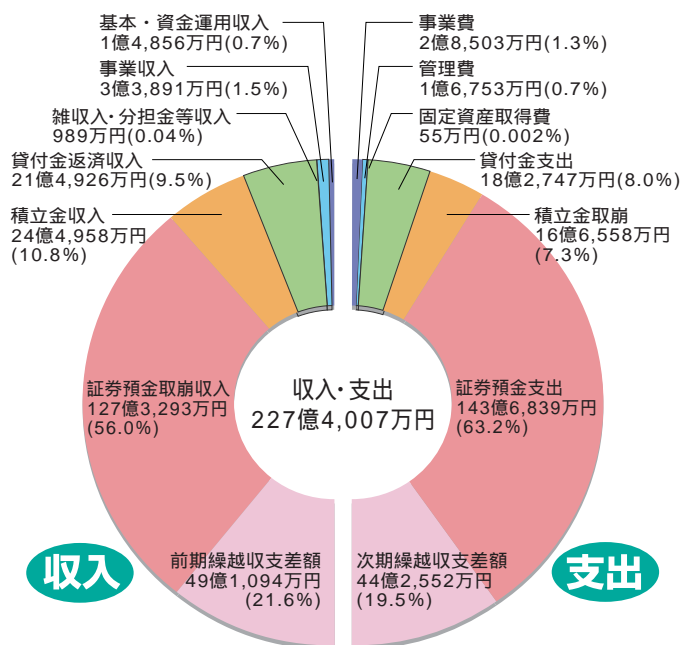


足形付土版

平成14年度 決算の概要

平成15年5月10日開催の評議員会において、平成14年度事業報告並びに会計決算が、慎重審議の結果承認されましたので、お知らせします。

1. 収支状況



2. 団員数

	14年度末	前年比較
現職団員	23,045人	318人
継続団員	2,735人	64人
合計	25,780人	254人

3. 厚生資金積立金

	14年度末	前年比較
現職団員	255億1,778万円	4億8,730万円
継続団員	48億8,788万円	2億9,671万円
合計	304億566万円	7億8,401万円

一人平均積立金額(現職団員) 1,107,302円
 一人平均積立金額(継続団員) 1,787,160円

4. 新規貸付事業

種別	件数	金額
生活資金	836件	8億1,069万円
住宅・宅地資金	37件	3億6,200万円
自動車資金	349件	5億6,510万円
学資金	13件	6,608万円
入学資金	17件	2,360万円
合計	1,252件	18億2,747万円
前年比較	2件	1,729万円

5. 厚生費贈与事業

(1) 普通厚生費

総額 1億2,282万円 一人平均贈与額 4,764円
 年度末に全団員に贈与(積立金に繰り入れ)

(2) 特別厚生費

種別	件数	金額
弔慰金	52件	575万円
災害見舞金	8件	140万円
病気見舞金	653件	1,306万円
香げ料	798件	1,554万円
結婚祝金	458件	1,356万円
就学祝金	1,098件	1,645万円
出生祝金	997件	1,491万円
多額積立記念品	1,784件	1,550万円
永年積立割増金	590件	2,708万円
合計	6,438件	1億2,325万円
前年比較	9件	98万円

6. 厚生・あっせん・公益事業

種別	内訳	前年比較
功績者感謝の会	参加者 192人	104人
継続団員連絡会	参加者 831人	85人
総合健診(人間ドック)	受診者 258人	5人
大腸がん検診	受診者 36人	4人
全修協研修旅行	参加者 97人	67人
退職準備金借入	あっせん 6件	8件
教育・文化活動	助成 30支部	2支部
教職員手帳等	全団員に贈与	

7. 生命保険団体取扱い事業

種別	件数・金額	前年比較
普通保険 (三井生命)	保有件数 10,822件	467件
	保険金額 426億9,215万円	31億7,039万円
教職員 グループ保険	加入人員 8,410人	530人
	保険金額 849億5,400万円	48億6,700万円
教職員 年金制度	加入人員 2,694人	96人
	加入人口 72,597口	1,022口

平成15年度 役員紹介

理事・監事全員が任期満了となり、新しい理事・監事が選任されました。
任期は平成17年5月31日までです。

評議員全員が任期満了となり、新しい評議員が選出されました。
任期は平成17年3月31日までです。

支部長の一部退任に伴い、後任の支部長を委嘱しました。
任期は平成16年3月31日までです。

退任の ご挨拶

前理事長 根津 正夫



5月31日任期満了により、常勤理事を退任いたしました。6年間の在勤期間でしたが相次ぐ金融機関の破綻・日経平均株価の低迷・長引く超低金利など日本経済の厳しさを知らされました。さいわい、歴代常勤理事の築かれた堅実な基盤に支えられ、退任の日を迎えることができました。これもひとえに役職員のご指導と団員各位のご協力のおかげと心より感謝申し上げます。退任にあたり、新潟県教職員厚生財団の一層の発展と団員はじめ役職員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

新任の ご挨拶

新理事長 菅井 徹郎



6月1日をもって理事長を拝命いたしました。きびしい経済環境のもとですが、90年の伝統を持ち、教職員の福利厚生団体として日本有数の規模を誇る厚生財団の名を汚さぬよう努めてまいりたいと思います。

団員の皆様のご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

顧問・理事・監事

[印新任]

役職名	氏名	所属名
顧問	今野 嘉夫	元理事長
顧問	根津 正夫	前理事長
顧問	川島 和弘	新学協組合長
理事長	菅井 徹郎	厚生財団
副理事長	澁谷 一男	新教組
専務理事	藤巻 徹	厚生財団
常務理事	野村 昭宣	厚生財団
理事	坂詰 浩一	新教組
理事	須田 文彦	新学協
理事	長嶋 聡	新学協
理事	樋浦 晃治	新潟小学校
理事	清野 展	鳥屋野中学校
理事	神林 晃正	阪之上小学校
理事	岩澤 勝巳	表町小学校
理事	丸田 勲	大町小学校
理事	長野 克水	高志小学校
理事	池田 定充	城西中学校
理事	長 昭榮	村上第一中学校
理事	宮澤 稔	新潟高等学校
理事	若林 治尚	新発田高等学校
監事	岸 公平	小千谷中学校
監事	小林 幹雄	東北中学校
監事	小田 聡	新教組
監事	吉澤 順二	三井生命新潟支社長

評議員・支部長

[印新任]

支 部	評 議 員		支 部 長	
新 潟	藤井 保男	沼垂 小学校	高橋 功	東新潟中学校
長 岡	河内 千明	栖吉 小学校	神林 晃正	阪之上小学校
上 越	古川 伸一	保倉 小学校	八木 一彦	春日 中学校
三 条	山田 裕信	三条 小学校	酒井 勝吉	第一 中学校
柏 崎	猪爪 行雄	柏崎 小学校	加茂川義靖	第二 中学校
新 発 田	二戸 敏夫	第一 中学校	高山 威彦	御免町小学校
新 津	小田 孝	小合東小学校	笹山 紘一	新津第二小学校
小 千 谷	俵山 迪夫	東小千谷小学校	太田 剛	小千谷小学校
加 茂	渡辺 厚志	葵 中 学 校	納谷 孫紀	加茂 小学校
十 日 町	野崎 建児	十日町中学校	町田 昌	十日町小学校
見 附	岡嶋 祥栄	西 中 学 校	小西 邦明	見附 小学校
村 上	鈴木 茂	岩船 中学校	吉川 雄次	村上 小学校
燕	三宅 友也	燕北 中学校	多賀 淳一	燕東 小学校
栃 尾	上村 義夫	栃尾南小学校	森山 俊次	栃尾東小学校
糸 魚 川	森 悦二	糸魚川中学校	下越 克男	糸魚川小学校
新 井	榎嶋誠太郎	新井 小学校	角張 修	新井中央小学校
五 泉	藤田 英志	川東 小学校	羽入 正路	五泉 小学校
両 津	宮川 安則	東 中 学 校	臼杵 國男	両津 小学校
白 根	市橋 恒一	根岸 小学校	阿部 英昭	大通 小学校
豊 栄	伊藤 孝司	葛塚 小学校	渡部孝三郎	葛塚 中学校
北蒲原郡	中山 清	紫雲寺中学校	羽田野 晃	中条 小学校
中蒲原郡	早川岩二郎	小須戸中学校	小川 雄三	亀田 小学校
西蒲原郡	丸山 登	中之口中学校	岸本 賢一	巻北 小学校
南蒲原郡	田浦 善雄	栄 中 学 校	東樹 哲夫	中之島中央小学校
東蒲原郡	本間 信昭	三川 小学校	石川 淳	上条 小学校
三 島 郡	佐藤 勝治	越路 中学校	村田 陸泰	与板 小学校
古 志 郡	蒲沢 賢吉	山古志小学校	小山 芳郎	山古志中学校
北魚沼郡	山本 壽男	小出 小学校	山本喜一郎	堀之内小学校
南魚沼郡	池津 久成	城内 小学校	五十嵐 建	六日町中学校
中魚沼郡	滝沢 和彦	津南 中学校	篠田 正道	千手 小学校
刈 羽 郡	大谷 眞	西山 中学校	酒井喜久司	刈羽 小学校
東頸城郡	片桐 信	安塚 小学校	井田 政芳	安塚 中学校
中頸城郡	清沢 聰	頸城 中学校	新部 嘉一	柿崎 小学校
西頸城郡	高橋 良弘	能生 小学校	陸川 洋	青海 中学校
岩 船 郡	黒部 道雄	安角 小学校	野上 正栄	山北 中学校
佐 渡 郡	本間 恵次	畑野 小学校	古藤 宗雄	相川 小学校
高等学校	勳山 勝	新潟商業高等学校	曳田 宏一	新潟中央高等学校
高等学校	坂井 政行	三条高等学校		
高等学校	野内 清忠	高田北城高等学校		
大 学			竹内 由一	新大歯学部付属病院
新 事 研	金井 洋子	長岡・東中学校		

厚生財団職員

事務長 / 笹川 勇治 部 長 / 安田 典彦 主 査 / 小林 ミツ 主 任 / 高野 トメ
主 任 / 田中 英幸 主 任 / 茂野 恵子 書 記 / 山口 隆行

◆ 厚生財団創立90周年記念式典 ◆

- 評議員会・支部長会合同会 -

期日 平成15年5月10日(土) / 会場 ホテル「イタリア軒」

ご 来 賓

新潟県教育委員会教育長	板屋越麟一様
全国教職員互助団体協議会専務理事	木村 哲夫様
三井生命保険相互会社代表取締役社長	西村 博様
株式会社第四銀行常務取締役	大野 義彰様
三井生命保険相互会社常務取締役	成瀬 行弘様
新日本監査法人代表社員公認会計士	田辺 進二様
県教育庁総務課長	内山 克彦様
県教育庁福利課長	青木 正明様
県教育庁義務教育課長	渡辺 伸栄様
県教育庁高等学校教育課長	小林 崔様
三井生命保険相互会社新潟支社長	吉澤 順二様
株式会社第四銀行白山支店長	鈴木 利夫様
野村證券株式会社新潟支店長	柴山 恒晴様
大和証券株式会社新潟支店長	乾 眞様
日興コーディアル証券株式会社新潟支店長	秋山 庄平様
県小学校長会会長	樋浦 晃治様
県中学校長会副会長	清野 展様
県高等学校長協会会長	宮澤 稔様
県学校生活協同組合組合長	川島 和弘様
県教育弘済会理事長	保坂 圭介様
県教職員組合執行委員長	澁谷 一男様
県高等学校教職員組合執行委員長	有坂 勝様
三井生命保険相互会社新潟支社次長	小賀 好一様



評議員会・支部長会合同会



記念式典



記念祝賀会



来賓紹介

◆ 式辞およびご祝辞をいただいた方々 ◆



式 辞

財団法人 教職員厚生財団
理事長 根津 正夫

厚生財団創立90周年記念式典のご案内を差し上げましたところ、新潟県教育委員会の板屋越教育長をはじめ、県内外より多数のご来賓からご臨席を賜りましたことに心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

風薫る緑美しい5月、かくも盛大に記念式典を挙げていただくことは、団員並びに関係各位の温かいご支援の賜物であり、この上ない光栄と存じます。

当財団は、大正初期の経済的に恵まれなかった教員生活を福利厚生面で支え、安心して教職に専念できるよう県当局の人的・経済的支援のもとに、大正3年1月25日「新潟県小学校教員互助会」の名称で県内に誕生しました。

当時、教職員の福利団体としては、全国唯一のものであったと財団50年史は述べています。その後、全国各地に同様の団体が結成されましたが、敗戦後の激動する経済状況の中で、その多くが姿を消し去ったと聞いています。そんな中を当財団は、激しく変動した大正、昭和、平成の三時代を生き残り、創立90年の誇りうる歴史を重ね本日を迎えることができたのです。

90年の歴史の中では、存亡の危機に見舞われたこともありましたが、歴代役員の方々のご努力と県当局のご指導、校長会、教職員組合などの友好団体や全国教職員互助団体協議会のご支援のおかげで、今日の確固たる基盤を築くことができました。

また、昭和9年、他社が逡巡するなか進んで財団と「団体保険特別契約」を結び、財団保険事業を推進下さっている三井生命保険相互会社、更には、第四銀行、野村・大和・日興コーポリアル証券をはじめとする金融・証券会社のご厚意に支えられ、県教職員の福利厚生団体として着実に発展することができました。

ここに改めて、お世話になりました関係団体各位に、財団を代表し深甚なる感謝と敬意を表します。ありがとうございました。

さて、ここ数十年の日本は、少子高齢化、情報化、グローバル化等のめまぐるしい社会情勢の変化と、バブル崩壊後の後遺症が癒されないままの長期経済不況下にあります。近年は、景気回復への切なる願いも叶えられないままデフレが深刻化し、経済活動の停滞を招いております。このことは、当財団の経営にも多大な影響を与えておりますが、経済状況を注意深く見極め、堅実にして安定した経営に努めた結果、この10年間に資産がおよそ80億円増加し、総資産329億円、団員25,700人の団体に成長しました。

これは、創立以来の理念であります「自助努力による相互扶助」の具体的な姿であり団員各位の財団へ寄せられた信頼の証でもあると感謝しております。

創立90周年を節目に、新潟県教職員互助会と手を携え、公益法人としての役割を果たすと共に、更なる福利厚生の充実につとめ、団員の皆様が安心して職務に専念できますよう、役員一同、今後とも財団事業の進展に最善の努力をすることをお誓いし式辞といたします。



祝 辞

新潟県教育委員会
教育長 板屋越 麟一様

本日は、誠にありがとうございます。

財団法人新潟県教職員厚生財団創立90周年記念式典の開催にあたり、一言お祝いを申し上げます。

貴財団は、大正3年に新潟県小学校教員互助会として設立されて以来、幾多の変遷を経ながら、大正・昭和・平成と歩み続け、新潟県内教職員の厚生事業を行うとともに、教育・文化活動を実施され、教育の振興に寄与してこられました。この間、歴代理事長をはじめ、役員や団員の皆様が一体となって尽力してこられたことに、深く敬意を表する次第であります。

さて、県教育委員会では、急速に変化する社会情勢の中において、教育は国家百年の計であることを肝に据え、21世紀を切り開く人材の育成にふさわしい教育のあり方を熟慮し、真摯に改革に取り組んでいるところでありますが、その一方で、教育という営みには、どのように社会が変わろうとも不変の役割が期待されており、流行のみ追うことなく不易を求め、時代に迎合しない毅然とした態度で教育行政を進めることを基本的な姿勢として持ち続けたいと考えております。

本県の学校教育は、教職員はもとより、関係各位のご尽力により、年々改善の実が結ばれつつありますが、国レベル以上の学力水準の確保や、地域間格差の改善、あるいは倫理観や規範意識等の向上を目指す豊かな心の育成、全国水準以上の体位に見合った体力や運動能力の向上等、今後全県を上げて取り組むべき大きな課題となっております。

現在、県教育委員会としましては、第8次総合教育計画の基本目標である「21世紀の社会を担う個性と、創造性豊かで活力に満ちた新潟の人づくり」を全力で推進しているところであります。このことを通して本県学校教育の諸課題の解決を図ってまいりたいと考えているところであります。しかし、この実現には、県教育委員会・市町村教育委員会が共通の課題認識を持つとともに、学校・保護者が連携し、関係機関及び地域の方々の協力を得て取り組みを進めることが肝要と考えております。とりわけ、「教育は、人なり」と言われるように教職員一人一人が自らの職に使命感を持ち、自信と誇りを持って、日々の教育活動を実践できるようにすることが何よりも重要であります。

こうした中で、貴財団が相互扶助を基本理念として、教職員の福利厚生の増進と、教育の振興発展に努めて頂いておりますことは、誠に心強く、感謝しているところであります。今後とも教育現場で教職員が安心して職務に専念できますよう、教育関係団体との連携を図りながら、時代に即応した福利厚生事業の一層の充実推進をお願い申し上げます。

終わりに、貴財団が創立90周年を一つの節目とし、更なる飛躍を遂げられますよう、同時に、団員の皆様のご健勝とご活躍を心から御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

全国教職員互助団体協議会
専務理事 木村 哲夫様



祝 辞

三井生命保険相互会社
代表取締役社長 西村 博様

本日は90周年本当におめでとうございます。

新潟県教職員厚生財団、全教互70加盟団体の中で、最も歴史の古い団体であることは、先程から述べられております。

大正3年に、まず全国に先駆けて設立され、教職員の色々な生活上の問題に力を合わせながらその福利厚生に尽力されてまいりました。その6年後、鹿児島県に互助団体ができました。昭和に入りまして、昭和8年に青森県に互助会ができたわけがあります。しかし、その間、各県に大日本教育会との関係の中で、いくつかの互助団体が造られましたけれども、その後、発展的解消という形で現在その姿を健全にとどめている団体は、数団体にしかありません。

新潟県教職員厚生財団は、その設立において、行政関係の方々の手厚い心づくし、そして、新潟県の先生方の本当に一致団結した教職員の生活を守り、そしてそれが結局子供たちの健全な全人的発達に寄与できるという確信のもと進められてきたことに心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。その御当地の財団を手本にしながら、各地が大変努力をいたしております。現在、熊本県1県だけがこの福利厚生団体を持っておりませんが、去年から何としてでもこれを誕生させたいということで努力をし、近々に設立の運びになろうとしております。これで、新潟県でその産声をあげた教職員の福利厚生団体が全国に行き渡り、しかも90年という長い年月を経て行き渡ることになったわけがあります。

新潟県教職員厚生財団の役割は、計り知れないものがあるという風に思います。そして、その健全な発展ぶりは、今日の資料の中で縷々述べられております。私はこの90年の歩みを、克明に繰り返し繰り返し読んでまいりました。大変なご苦労があったらと思います。それを健全に維持発展させてきた役職員の皆様、あるいは、そこに結集された団員の皆様の大変な御努力に感謝を申し上げ、今後全教互の色々な活動の手本にさせていただきたいという風に思います。

ただ最近問題になっておりますのは、民法34条に基づいてできたこの財団法人が、いくつかの心無い運営によって今大きく変えられようとしております。私は新潟県のこの取り組みを、是非、役割の大きさを、この資料をもとに関係官庁・団体等に訴えながら、この輝かしい伝統を、100年あるいは150年と続けていくように頑張りたいと思います。

皆様方の、今後ともご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

本日は90周年、一口で申し上げることはできない長い歴史、苦難の道を歩まれ、健全に現在も歩んでおられる新潟県教職員厚生財団に対し、心から敬意を申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

財団法人新潟県教職員厚生財団の皆様、関係者の皆様、創立90周年誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

今までお話がございました通り、今日まで厚生財団は、非常に立派に運営されてこられました。財団諸先輩の皆様方の御苦労、それから現理事長の根津様をはじめとした役職員の皆様の御努力に対して、改めて敬意を表したいと思います。

また、このような盛大な90周年パーティーにお招きいただきましたことをありがたく、心から御礼申し上げます。

私ども三井生命は、昭和9年に財団保険部の創設と同時に、生命保険の団体取扱いをさせていただいて以来、実に70年の長きに渡って、普通保険団体扱いを、我が社1社で、一手に引き受けさせていただいております。また、さらに、教職員の皆様の、生活設計の一助として昭和49年に発足いたしました教職員グループ保険制度、これについても幹事会社としてお取引・運営させていただいております。現在のお取引の状況は、普通保険団体扱い契約が約11,000件、グループ保険が約8,500件でございます。約26,000名の団員の皆様と、何らかの形で三井生命とお付き合いさせていただいているということでございます。

それだけに財団の皆様に対する責任の重さを、社長として痛感しているところでございます。今後とも当社の新潟支社、吉澤支社長率います約280名の担当者が、財団の皆様のご期待に十分に答えるべくサービス活動をさせていただきますので、今後とも引き続きまして御指導・御支援のほどをよろしく願いたいと思います。

少しお時間をいただきまして、簡単に三井生命の現状について一言お話をさせていただきたいと思っております。

私ども、お客様に信頼され選ばれる会社を目指すという基本方針の下に、収益力の強化と財務基盤の安定ということを二本柱にして、経営のあらゆる分野において懸命に努力しているところでございます。平成14年度決算について簡単に申し上げますと、株価が異常と言えほど低迷する中で、申し訳がないのですが、株式評価損をかなり大幅な形で計上せざるを得ない状況でございます。しかし、コスト削減、あるいはリスク資産の圧縮等の経営努力を進めた結果、会社の健全性の指標であるソルベンシーマージン比率、あるいは本業の収益の指標である基礎利益、さらには新契約、あるいは解約の状況などの業績については、この5月30日に生命保険各社が、決算のプレス発表をするということになっておりますが、そのときにはしっかりした内容で公表できるというふう判断しております。是非御安心していただきたいと思っております。三井生命は、今後とも財団の福利厚生事業に貢献すべく、引受会社として、あるいは幹事会社として、生命保険会社の果たすべき使命をきっちりと果たして行く所存でございます。今後ともよろしく願いたいいたします。

最後に、新潟県教職員厚生財団の90周年を心からお慶び申し上げますとともに、今後ますますの御発展をお祈りして、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

おめでとうございます。

評議員会・支部長会において、創立90周年記念事業のイベントとして旅行券の抽選が行われ、次の方々が選ばれました。



〔抽選風景〕

7月中旬にお送りいたします。

1	皆川 俊勝	新井中学校	26	大坪 準一	相川中学校
2	岸 美奈子	直江津中学校	27	林 君夫	高千中学校
3	佐藤 裕貴	北条南小学校	28	稲葉 美之	砂山小学校
4	室橋 辰宏	枇杷島小学校	29	貝沼 雅代	女川小学校
5	阿部 文夫	柏崎・第三中学校	30	松縄 真史	新潟市立養護学校
6	横山 宏子	大瀧小学校	31	猪又 浩之	高田養護学校
7	青柳 正子	田井小学校	32	五十嵐一男	新潟養護学校
8	鈴木 和子	見附小学校	33	木宮 歩	長岡大学
9	桐生 辰宏	見附中学校	34	岩下 伸子	上越教育大学付属幼稚園
10	樋口 哲朗	水沢中学校	35	本田 吉栄	長岡工業高等専門学校
11	小崎 優子	三条・大島小学校	36	牧野 正幸	新潟江南高等学校
12	佐藤美由紀	三条・保内小学校	37	上川 芳浩	村上高等学校
13	網 信行	長岡南中学校	38	水澤 肇	村上高等学校
14	岩澤 正顕	大和中学校	39	橋崎 則宗	新潟工業高等学校
15	横山るみ子	寺泊小学校	40	裏田 仁	新発田高等学校
16	長谷川裕子	南蒲・北小学校	41	吉田 由治	拍崎常磐高等学校
17	植栗美恵子	上通小学校	42	土肥 伸行	三条商業高等学校
18	佐藤 宏充	安田中学校	43	猪爪 正和	高田高等学校
19	信田 和則	京ヶ瀬中学校	44	小林 皇司	長岡商業高等学校
20	渡辺 俊明	愛宕中学校	45	池田 恵一	相川高等学校
21	駒野 啓子	弥彦小学校	46	山田 紀子	八海高等学校
22	長谷川紀博	燕中学校	47	関屋 正樹	中条高等学校
23	羽賀美由紀	外ヶ輪小学校	48	小柳マス子	継続団員
24	座間 誠一	東曾野木小学校	49	加藤 淳一	継続団員
25	逸見 慶子	真砂小学校	50	市島 清治	継続団員

〔敬称略〕

事務局からのお知らせ

創立90周年記念品は9月、多額積立記念品は10月にお送りいたします。

現職者は所属所に、継続団員は自宅にお送りいたします。

資金の借入を申し込まれるときは、「借受申込書」と「借用証書」及び「添付書類(生活資金貸付、災害資金貸付を除く)」を提出してください。

平成16年度版教職員手帳の希望申込書は、9月に各所属所へお送りいたします。